

とうじんまがわ

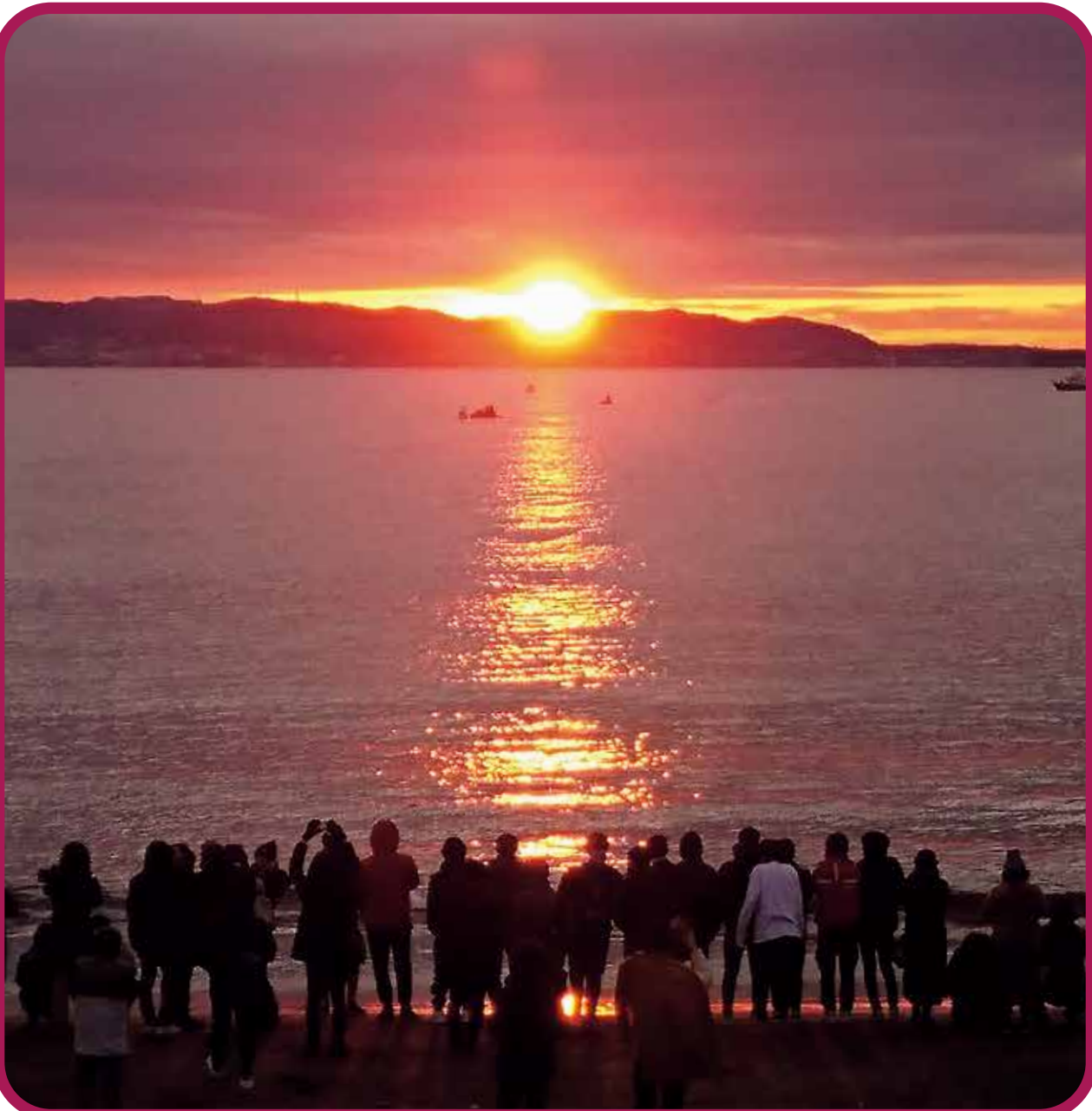
Tojinkyo SSKA

冬

No.224・2019 1.15

おもな記事

- 〔特集〕新春座談会～これからの東腎協を展望して～ …… 2
なかまのたより ……12
2019年の透析30年表彰会員 ……17
2019年年賀名刺広告 ……20



江ノ島



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556
<http://www.toujin.jp/> E-mail info@toujin.jp

第
30
回

腎臓病を
考える

都民の集い

講演Ⅰ

60分

慢性腎臓病(CKD)を 良く知ろう

～腎臓を守るために～



講師
安藤亮一 先生
武蔵野赤十字病院副院長
腎臓内科部長

慢性腎臓病患者は全国で1300万人とも言われ、新たな国民病として正しい知識と治療法の理解が求められています。CKD(慢性腎臓病)は、「末期腎不全」のみならず心筋梗塞や脳梗塞など心血管疾患の原因でもあることもわかってきております。健康診断を積極的に受け、腎臓病を早期に発見して治療すれば透析治療法に導入することなく、または透析導入を遅らせることができます。

講演Ⅱ

50分

今日から実践!

腎臓を守る食事療法のコツ

講師

原 純也 先生

武蔵野赤十字病院栄養課
栄養課長



総司会

鈴木吏良(りら)

(元NHKニュースキャスター)

事前に質問用紙に質問事項を書いて頂き、先生方に回答していただきます。



**Q&A
コーナー**



日時

平成 31 年
2019年2月10日(日)
13:00～16:30 (開場12:30)

場所

**都民ホール
都議会議事堂 1 階**

〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1

60分

Q&Aコーナー

入場無料

先着250名様
事前申込み不要

交通

JR 新宿駅西口 徒歩 10 分

都営地下鉄大江戸線都庁前 徒歩 5 分

JR 新宿駅西口巡回バスあり東京都庁前下車 (都営、京王)



お問合せ

NPO法人東京腎臓病協議会

☎:03-3944-4048 Fax:03-5940-9556

E-mail:info@toujin.jp

肥満やメタボリックシンドロームなどの生活習慣病罹患者はCKDになりやすいと考えられています。

都民のみなさま「慢性腎臓病(CKD)を良く知ろう～腎臓を守るために～」
「今日から実践! 腎臓を守る食事療法のコツ」にぜひご参加ください。

主催 **NPO法人東京腎臓病協議会**

共催 **東京都**

後援

一般社団法人日本腎臓学会 / 一般社団法人日本透析医学会 / 公益社団法人日本透析医会 / 公益財団法人日本腎臓財団
特定非営利活動法人腎臓サポート協会 / 認定特定非営利活動法人腎臓病早期発見推進機構 / 一般社団法人全国腎臓病協議会

新元号の下、新たな気持でスタートを

NPO法人東京腎臓病協議会会長 梅原 秀孝



新年あけましておめでとうござ
います。

本年もまた私たち腎臓病患者は
健康に留意して良い年にしたいも
のであります。

さて今年は平成の時代から新し
い年号に変わり心よりご祝福申し
上げたいと存じます。私たち国民
も新たな気持ちになりスタート出
来るのではないのでしょうか。

近年の医療に於ける科学技術の
進化は私達患者にとつては、期待
と希望が膨らんでいきます。早期に
開発を願うばかりです。現在はI
PS細胞とMUSE細胞の点滴に
よる研究が進められていることは、
マスコミ等で報道されています。

さて2018年度の東腎協の活
動は順調に推移しております。今
年もまた皆様のご協力を頂きなが
ら、理事・正会員とも努力して参
りたいと考えています。

過去中期ビジョン3ヶ年計画
「会員拡大キャンペーン」を実施

し、皆様方には大変ご尽力、ご協
力を頂き有難うございました。然
し入会者より退会者の方が多く現
実会員減少という傾向となりました。
そこで会員活動の見直しとい
う観点から再構築委員会を立ち上
げ鋭意検討努力しているところで
ございます。

先ずその一つとして、都民の集
い（腎臓病CKD）について、2
018年3月に東京都と共催し都
庁五階大ホールに於いて、東京医
科大学の菅野義彦先生を講師に迎
えご講演を頂き大勢の方のご参加
がありました。

引き続き学習をしたいというご
要望を受けて、フォローアップ交
流会という形で十一月四日、(株)東
京在宅サービスセンター東京本社
に於いて開催しました。アドバイザー
として、清湘会記念病院栄養
科主任・中尾優美子先生にご講演
を頂きました。食事療法の大切さ
を学習し、参加者よりご好評を頂

きましたので、今年も継続開催し
たいと考えています。

尚、今年は定款（原点）を遵守
し可能な限り実践すべく皆様と共
に精進したと思います。

さて東腎協の活動に参加した当
初、私はあまり体調も良くなく、
心身ともに病んでいましたが、諸
先輩方の活動を通し勇気を頂きま
した。私達透析患者は諸先輩方
のご苦労により、現在の高額医療費
の無償化、国の社会福祉医療制度
に守られ保障されていることに感
謝しています。また、健康を維持
するにはしっかりと透析、しっかり
食事をとり、しっかり運動する事
によりお蔭様で健康になりました。

そこでNPO法人東京腎協は社会
貢献という立場から、自己の健康
の許す範囲内で活動に協力する事
が大切だと考えています。

結びにあたり会員皆様のご健康
とご多幸を御祈念申し上げ、新年
のご挨拶とさせていただきます。

目次

年頭にあたって

NPO東腎協会長 梅原秀孝…………… 1

特集 新春座談会

これからの東腎協を大いに語る… 2

活動のまど …………… 9

なかまのたより ……………12

透析30年会員表彰 ……………17

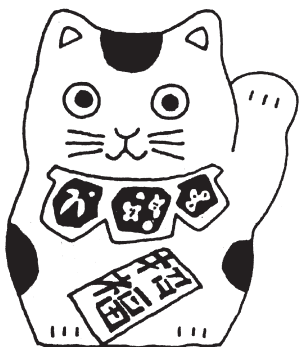
2019年年賀名刺広告 ……………18

事務局より……………24

編集後記……………24

第30回腎臓病を考える都民の集い……表 2

				決算予測	現状の活動を踏襲した場合の収支予測				
2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
22,171	20,625	18,073	16,678	13,962	12,254	10,547	8,839	7,132	
7,527	8,238	5,448	6,881	6,139	5,388	4,637	3,887	3,136	
29,698	28,863	23,521	23,558	20,101	17,642	15,184	12,726	10,267	
462	1,573	767	-583	1,240	4,561	4,816	7,274	9,733	
30,160	30,436	24,288	22,975	21,341	22,203	20,000	20,000	20,000	
29,248	27,675	27,493	28,076	26,253	21,692	16,876	9,602	-131	
4106	3820	3347	3088	2585	2269	1953	1637	1321	
218	286	473	258	503	316	316	316	316	
					316				



東腎協再構築委員会 重ねてきた議論

司会 東腎協は昨年来、会員減少

梅原 あけましておめでとうござ
います。今年度は年号も変わると
いうことで、私たち国民も祝福し
たいと思います。今年もみんな
力を合わせて頑張りましょう。

これから の東腎協 展望 して大いに 語る



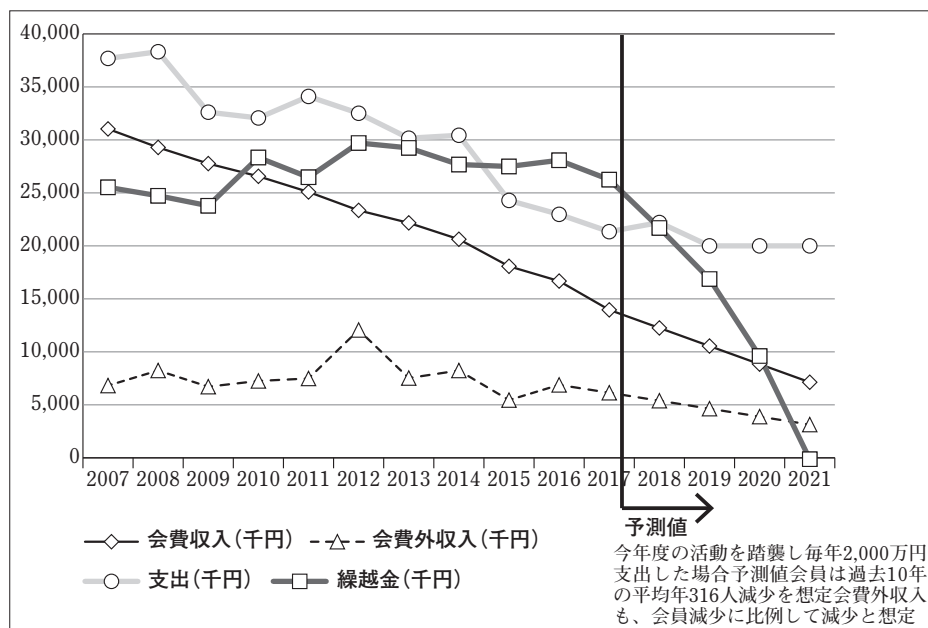
2019年 新春座談会

〈出席者〉

- 梅原 秀孝さん NPO東腎協会長（全腎協理事）
戸倉 振一さん NPO東腎協副会長（災害対策委員長）
古暮 宏さん NPO東腎協副会長（行政委員長）
榊原 靖夫さん NPO東腎協理事（全腎協理事、東難連理事長、
北部ブロック長）
酒井 豊さん NPO東腎協理事（全腎協社員代表）
中野 雄蔵さん NPO東腎協理事（多摩ブロック長代行）
宿野部武志さん 元NPO東腎協理事（元青年部長）

司会：板橋俊司 NPO東腎協理事（事務局長）

表1. 過去10年の収支の推移と現状の活動を踏襲した場合の収支予測



	決算					
年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012
会費収入(千円)	31,036	29,288	27,764	26,565	25,088	23,349
会費外収入(千円)	6,816	8,239	6,712	7,254	7,486	12,062
収入合計(千円)	37,853	37,527	34,475	33,819	32,574	35,411
繰越金取崩(千円)	-163	793	-1,863	-1,748	1,528	-2,898
支出(千円)	37,690	38,320	32,613	32,071	34,102	32,513
繰越金(千円)	25,523	24,730	23,788	28,340	26,474	29,710
概算 会員数(人)	5747	5424	5141	4920	4646	4324
年度 減人数(人)			282	222	274	322
平均年度 減人数(人)						316

表2. 東腎協 課題解決計画表

分類	項目	対策	担当	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
イベント				5月 全腎協結成50周年大会			
患者会	会計支援	患者会現金管理を事務局が代行	事務局	当面は各ブロックと協議し進める。			
	機関誌送付	患者会に会員にも直接東腎協から郵送	事務局	同上			
	運営指針	透析施設患者会の役割再確認・運営指針の作成		年度内方針検討(上記を含む)			
社会的課題	慢性腎臓病対策	行動計画策定		年度内策定			
	臓器移植の推進	行動計画策定		年度内策定			
	透析施設の課題	行動計画策定(災害対策含む)		年度内策定	透析医会との懇談実施		
	再生医療の推進	現状調査、研究者への支援・行政への働きかけ	宿野部	現状調査			
	災害対策	災害マニュアル整備、透析医会とのすり合せ		区民講座	透析医会との懇談実施		
患者の問題	食事療法	透析回避のための食事療法		慢性腎臓病対策で検討			
		合併症およびフレイル(低栄養)の予防	広報委員 ブロック	・機関誌で予防啓発シリーズ化 ・全ブロック(場合によっては共同で)が各年度一貫したテーマで講演会実施。			
	運動療法	フレイル(サルコペニア:筋力低下)の予防					
	認知症予防	フレイル(認知機能障害)対策					
	うつ病対策	実態調査、ピアサポート					
	腎臓リハビリ	課題整理、専門家との連携					
	合併症対策	行動計画策定(透析不足に起因する合併症対策)	古暮 宿野部				
	保存期患者CAPD 移植患者	会員の実態調査、経験交流の場作り、組織化		会員実態の整備			
				実施計画策定			
				日替わり事務局詰めの検討			
				患者会・個人会員・一般人とわず人材を発掘し教育・育成			
体制	事務局	事務局強化策検討		個人会員・患者会会員(患者会役員の経験がない人) 健康者からの人材発掘・教育・育成			
	理事会	オブザーバー制度の拡大検討					
	総会	正会員の対象、総会傍聴制度の検討		総会承認	実施		
	ブロック活動	役割再確認		意思統一			
	広報	情報発信の方針検討、フェスブック等の活用	板橋	検討			
資金調達	個人会員	慢性腎臓病患者、移植者に対象を広げる		実施計画策定			
	賛助会員	透析施設、介護施設の賛助会員を増やす		実施計画策定			
	特別会員	当会主旨の賛同者とする金銭的な支援者		可否を決定			
	助成金	各事業実施責任者がその都度調査					
	公告収入	機関誌以外の公告収入検討		繰越課題とする。			
	製薬会社の協賛	共同事業の推進、広告、助成金		繰越課題とする。			

による組織の弱体化に危機感をもち、東腎協、全腎協の旗をいかにして守っていくか、「再構築委員会」で4回の議論を重ねてきました。戸倉副会長、そのいきさつをお聞かせ下さい。

戸倉 東腎協結成まもなく「透析医療の普及」「医療費自己負担の軽減」は実現されましたが、2003年頃までは、「命と暮らしを守る」という活動に多くの仲間が賛同して、会員数、患者会数とも右肩上がり、会員数は7000名を上回る勢いでした。ところが、2003年頃をピークに、平均して毎年、年間約300人の会員の減少が続いています。(表①参照)

会員減少の主な要因は、透析医療福祉制度の安定からくる患者会活動への魅力減と、患者会役員の高齢化により患者会の維持運営が困難になってきたことと考えています。

2015年から17年まで、3年計画を立て、会員拡大運動を展開してきましたが、会員減少の傾向に歯止めをかけることはできませんでした。そこで、新たな活動計画を策定するため、東腎協の活動のあり方をここで改めて考え直

し、方向性を見定めるため、本年度から「東腎協再構築委員会」を立ち上げ、昨年4回の委員会を開催してきました。

司会 委員会で議論した内容はどのようなことですか？

戸倉 まず原点に返って、定款から東腎協が行う事業の基本方針を確認しました。「定款第3条 目的」この法人は広く一般市民に対し腎臓病に関する正しい知識普及と予防を図り、腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図るための政策提言（略）市民の健康並びに福祉の向上に寄与（略）」

そのうえで、患者会、社会的課題、患者の問題。東腎協の体制。資金調達の5つの分類と26の項目の対策を立てました。（表②参照）

それぞれの課題では、2018年度内に着手する課題、2019年度以降に進める課題を分け、担当者を決め、各担当者が提案した基本方針（案）についての討議を

これからは、患者さんにとって魅力ある課題に取り組んでいく必要がある

古暮 宏 NPO東腎協副会長（行政委員長）

しました。

司会 古暮副会長、「社会的課題」「患者の問題」では具体的にどうですか？

古暮 諸先輩の努力で、我々は安心して透析医療を受け生きながらえているわけですが、透析患者の実態を見ると、多くの患者が透析による合併症に苦しんでいる、生命予後が一般に比べ50%以上短いという状況に置かれているという厳然たる事実があります。

これからの東腎協は、患者さんにとって魅力ある、メリットになる課題に取り組んでいく必要があると思います。合併症対策では頻回透析、長時間透析など透析の量の問題など、施設の協力を求めて

いくことが必要だと思っています。

社会的問題では、昨年発足した東京都透析医会や日本腎臓病協議会、腎臓サポート協会等と連携して、課題の整理、現状調査、分析が必要だと思っています。

全腎協や東難連など他団体との連携

司会 他団体との連携では、全腎協理事で東難連の理事長でもある榊原理事いかがですか？

榊原 全腎協は再来年結成50年を迎えますが、結成当時と現在は比較ができませんが、当時は活動することによって、医療福祉の成果が一つ一つ確実に上がってきたと

いう経過があります。

こうした全腎協・東腎協の活動の成果として、現在の医療・福祉制度は整備されていますが、まだまだ不安な点があります。ですから、毎年取り組んでいる国会請願署名活動は、48年目を迎えますが、我々の要望、現在の医療・福祉制度を守り抜くという意味で、継続して社会に訴えていく活動として重要だと思っています。

司会 東京難病団体連合会（東難連）の活動はどうですか？

榊原 東腎協は、東難連が結成当時から主導的立場で関わっています。初代、2代目の会長も東腎協が担っていて、昨年から私が理事長になっています。

他の難病団体の皆さんは、私たちが40数年前に経験したようなつらい時期を現在闘っています。したがって、東腎協に対しては、その経験や教訓の期待は大なるものがあります。ですから、われわれ

2003年ごろをピークに、年間で約3000人の会員減少が続いています

戸倉 振一 NPO東腎協副会長（災害対策委員長）



が難病団体の方たちと共闘していくことは、大きな社会貢献の一つだと確信しています。

司会 東腎協の現状や全腎協、東難連の活動報告の上で、2019年の東腎協の活動はどうあるべきか、梅原会長いかがでしょうか？
梅原 国の予算が100兆円を超え、1000兆円以上の赤字国債を発行するということで、1兆70



腎臓病を考える都民のつどい

東腎協の経験や教訓を、他の難病団体と共闘していくことは大きな社会貢献

榊原靖夫 全腎協理事、東難連理事長、北部ブロック長

00億円という我々の透析医療費への風当たりも強くなるのが懸念されますが、患者一人一人が団結して現在の制度を守っていかねばならないと思います。

ブロック活動や患者会活動の取り組みは

司会 今日では元青年部長の宿野部さんにもご参加いただいています。これから東腎協を担っていく若手としていかがですか？

宿野部 若手でも私は透析歴30年を超えています。患者として重要だと思っていることは、リテラシー（勉強会）とコミュニティー（患者会・仲間）とメンタル（ピ

アサポート・支えあい）だと思っています。この三拍子を揃えることが患者会として大切なことだと思っています。

また、慢性腎臓病にならないための「都民の集い」を始めとしたCKD対策活動や、CKDが重症化しない、透析にならないための施策やサポートが透析患者のサポートと同じように重要だと思っています。

司会 東腎協のブロック活動について、多摩ブロックはいかがですか？

中野 多摩ブロックでは、会員さんに有益な情報を与えるために、今年は勉強会などを軸とした活動をして行こうと思っています。

また、多摩では昨年から個人会員の活動が活発になってきましたので、個人会員の強靱な組織化を図って、東腎協の模範活動になれるよう努力したいと思っています。

昨年12月に、梅原会長と多摩地域の患者会未組織施設を訪問したのですが、現状の透析施設は患者会にあまり関心が無いようで、病院を変えていくのはまだまだ厚い壁のような気がしました。ですから、個人会員の拡大に力を入れて、そのつながりで変えていくしかないのかなと思いました。

梅原 未組織施設の問題では、東京都透析医会の先生と、患者会のことも定期的に相談して協力し合うことも大切だと思います。

榊原 東腎協はこれまでもブロック活動を重視してきましたが、東京全体だけでなく、細分化されたブロックという地域の中で、患者会同士の交流や経験交流などをもっと重視していくことが大切だと

患者一人一人が団結して、現状の制度を守っていかねければと思います

梅原秀孝 NPO東腎協会長（全腎協理事）



思います。

しかし残念ながら、最近の勉強会や交流会は同じメンバーになりつつあるので、我々ももっと考えて、いろいろな人に参加してもらえよう努力したいです。

酒井 東部ブロックでは、個人会員の集まりや学習会など企画しましたが、会員さんからの要望があり、秋に料理教室を企画しました。栄養士さんの協力なども得て大変好評でした。

患者会の問題では、一番は、自分が入会してから間に、会員が半分くらいに減ってしまったことだと思います。患者さんの高齢化による会員減少もありますが、患者同士が問題意識を共有できなくなって、無関心になってきているのではないのでしょうか。

ですから、災害時の透析患者の心構えや、透析時のトラブルへの対応、日常の透析生活の過ごし方など、新しい患者さんの関心のあ

今年の多摩ブロックは個人会員の強靱な組織化を図って東腎協の模範を目指す

中野雄蔵

NPO東腎協理事・多摩ブロック長代行

る情報を提供していくことが大切だと思います。

それと東腎協の活動資金ですが、現在は会員さんの会費で賄っていますが、将来的には、助成金や公的資金が運用できないか研究する必要があると思います。

透析患者の災害対策と東腎協の今後の取り組み

司会 梅原会長は全腎協の災害対策委員ですが、いまだどんな取り組みをしているのでしょうか。

梅原 全腎協には「災害対策マニュアル」がありますが、そのマニュアルが災害時の現場に活用しきれないという問題があります。も



臓器移植普及推進キャンペーン

っと実用的でコンパクトなマニュアル作成の準備をしています。

また、最近の災害の経験から、普段から地域の自治体、医療機関、



製薬会社などと横のつながりを強化して、コミュニケーションを図っていくことが大切だと言われています。

司会 戸倉副会長は東腎協の災害対策担当ですが、東京の災害対策はいかがですか？

戸倉 この間の情報収集の中で、昨年1月に東京都透析医会が発足し、9月に医療従事者向けシンポジウムが開催されることを知りました。そこで我々も参加しようということ、東京都福祉保健局を通じて申し込みを行い、梅原会長、古暮副会長、板橋事務局長と私で参加しました。

その後、東京都区部災害時透析医療ネットワーク代表世話人の酒井謙先生、菊池勘先生から、今年3月10日に東京23区内の透析患者向けの公開講座を企画するので、そのための資料として患者と医療者の座談会への参加を依頼され、先日宿野部さんと私が参加しまし

災害時の心構えや、透析時のトラブル対応など、患者さんの関心ある情報の提供を

酒井 豊

NPO東腎協理事・全腎協社員代表



た。座談会の内容は、災害時の情報伝達方法と患者の自助が中心でした。今号の機関誌にその概要を掲載してありますので参考にしてください。

東京都透析医会が昨年1月に発足してから、透析施設間や関係機関との連携もより強固になり、災害対策が充実してきています。東腎協としては、こうした情報をき



東京歩こう会

「学び・仲間・支えあい」——この3つを揃えることが患者会として大切なこと

宿野部武志 元NPO東腎協理事（元青年部長）

ちんと把握しながら、インフラが回復するまでの2、3日間をどのように過ごしていくのか、透析患者の食事管理など自己管理を中心に啓発していきたいと思います。司会 座談会には宿野部さんも参加されたのですよね？

宿野部 菊池先生と酒井先生のお話で、患者のためのネットワークを構築して、実際に災害が起きた時の体制づくりをされていると聞きまして、大変ありがたいことだと感謝しております。

また、災害時に透析を離脱するときの手段で、従来より時間を短縮する機器の紹介があり新しい発見でした。あとは、患者の身は自分自身を守る、布団をかぶったり、

カリウムに気を付けたりと、自分で災害時をイメージしておくことが大事だと改めて思いました。司会 23区内の災害対策は具体的な取り組みになっているようですが、多摩地区はどうなっていますか？

梅原 多摩地区では1980年に発足した三多摩腎疾患治療医会の中に、以前からネットワークができており、情報交換も進んでいると聞いています。

戸倉 今、三多摩と区部を統合し、東京都全体を1つの街として、東京の透析施設が協力する体制や、隣接県とも広域に協力する体制作りも進んでいます。

「東京歩こう会」で運動療法の新たな試み

古暮 昨年からは始めた試みの1つに「東京歩こう会」が発足しました。この会は、患者会・ブロックの枠を超えて東腎協の全会員を対象に呼びかけています。

会の趣旨は、東京の名所・旧跡・素敵な景観などを半日かけてウォーキングしようということです。この狙いは、多くの透析患者が筋力が衰え、予後にも大きく影響すると言われていたことから、身近な体を動かす方法として、運動療法のひとつとして企画しました。1人ではなかなかできない、歩くという運動を習慣化していこうということです。将来的にはCKD患者さんも含めた大きな運動にしていきたいと思っています。

昨年3回企画しまして、今年も2か月に1回、6回の企画を立て

2021年には全腎協設立50周年 全国大会は東京で開催することに

板橋俊司 NPO東腎協理事



たいと思います。大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。

榎原 東腎協40周年の「会員実態調査」によると、「東腎協の活動への期待」について、非常に期待している24・4%、期待している51・9%で、合計76・3%の方が東腎協の活動に期待しているという結果が出ています。期待している内容については、各種制度の維持向上27%、組織力に期待している18%、情報が得られる16%、要請活動に期待13・8%、以上で約60%になります。

透析患者は、これからの医療制



座談会の様子

度、福祉制度が削減されていく可能性が大変大きい中で、我々が会員さんの期待にしっかりと応えられるような活動をしていく必要があると思います。

東腎協は東京都、都議会に対してもいろいろなコミュニケーションをしっかりとつたうえで、窓口・パイプを生かしていく必要があります。そのためには、会員の皆さまにご協力をお願いしたいと思います。

全腎協50周年記念式典 東京での開催が決定

司会 さて、2021年5月に、全腎協が設立50周年を迎え、記念式典を東腎協が引き受けることになりました。梅原会長いかがですか？

梅原 昨年10月の東腎協理事会で、2021年5月に行われる全腎協50周年記念式典を東腎協が開催県を引き受けることが正式に決定しました。

先ほどの話で、東腎協の今日の状況ではそれどころではないというのが実情です。しかし、48年前に腎臓病患者会の発祥の地で

あった東京で、記念すべき式典を行うのは当然ですし、我々も決意する必要があると思います。

戸倉 それと、東腎協も法人設立15周年（設立49周年）ですので、同時開催ということにすれば、負担もある程度軽減できると思います。

司会 全国大会を東京で開催するのは第30回大会以来ですよ？

戸倉 第30回の開催に関わったのは、役員では糸賀監事、榎原理事須賀理事と私くらいだったと思います。会場は江東区のホテルイーストでした。私はまだ、役員になっていませんでしたが、青年部としてボランティアの方々と協力してボランティアの方々と協力して道案内を担当しました。

全国大会ともなると規模が大きく、東腎協の役員だけではとても運営できません。会員の皆様、関連団体のご協力をいただきながら進めていかなければなりません。大変なこととは思いますが、この取り組みを東腎協の再構築方針とかみ合わせて、新たな活力源にしていく必要があると思います。みなさんいかがですか？

全員 同感です！

司会 力強い意思統一で、今年の

活動にも光が見えて来ましたね。それでは最後に本日のまとめをお願いいたします。

戸倉 我々はまだたくさん課題・問題を抱えております。その課題を解決していくためには、今後患者会がきちんと維持されて行くことが必要です。

医療制度の堅持継続、災害対策の充実等のための東京都への要望や関連団体との連携の窓口としての東腎協の必要性、我々の活動を多くの人に知っていただいて、参加してもらえようように、魅力ある患者会に皆さんと協力していきたいと思っています。

梅原 今日は斬新的な意見もいろいろ出ました。私たち患者は、生涯透析をしていかなければならない立場にありますので、一日でも長く楽しく、明るく元気に暮らせるよう協力して励まし合っていきたいと思っています。私たち役員は、そのお手伝いをさせてもらっているという、その気持ちを大切にしていきたいと思っています。

司会 以上、長らくありがとうございました。今年も皆さんで力を合わせて頑張りましょう。

とうじんきょう 活動の まど

第29回 腎臓病を考 える都民の集い「フ ォロ ーアップ交流会

11月4日(日)
(株)東京在宅サービス

昨年11月4日(日)新宿の(株)東京在宅サービスの会議室で東腎協主催、東京都共催で春に行われた第29回腎臓病を考える都民の集いのフォローアップとしての交流会が開催されました。

春の集いでは東京医科大学病院の菅野義彦先生と東京女子栄養大学管理栄養士坂本香織先生に講演をして頂き、講師と参加者との活発な質疑応答が行なわれ参加者から「大変わかり易く役に立った」との声が多数寄せられましたが一



左から2番目 中尾優美子先生



参加者も熱心に



部の参加者から「時間が足らず食事療法についてもっと詳しく話を聞きたかった」との声がアンケートで寄せられていました。

その後東腎協理事会で検討し、そうした参加者の声にお答えする必要があるとしこの度のフォローアップ交流会を開催する運びとなりました。

当日の交流会には慢性腎臓病患者、透析患者16名と東腎協理事8名、食事療法アドバイザーとして清湘会記念病院中尾優美子先生が参加し13時から開催されました。

中尾先生からは塩分、たんぱく質、カリウム、リン、カロリーなどの摂取上の注意点についてのお話が有り又参加者お一人お一人からは食事の悩みについてご発言があり、それに対し中尾先生から個別にわかり易く丁寧にアドバイスをして頂きました。

その後も定刻を過ぎるほど活発な質疑応答が行なわれました。又東腎協の参加者からは自らの体験に基づいた助言、透析治療についての生々しい報告が有りました。

最後に東腎協板橋事務局長から東腎協、全腎協の成り立ち、慢性腎臓病に対する取り組み方針についての説明と慢性腎臓病患者が透析にならない様、東腎協として今後全力を上げ活動するので東腎協の会員になって一緒に活動しませんかと参加者に呼びかけがあり、その場で2名の方が個人会員として入会されました。

尚参加者からは今日参加して良かった、今後是非この様な勉強会を開催して欲しいとの発言もあり東腎協として慢性腎臓病患者対策強化の一環として春の都民の集いに続いてフォローアップ交流会を今後も実施する予定です。

災害対策区部ネットワークと座談会

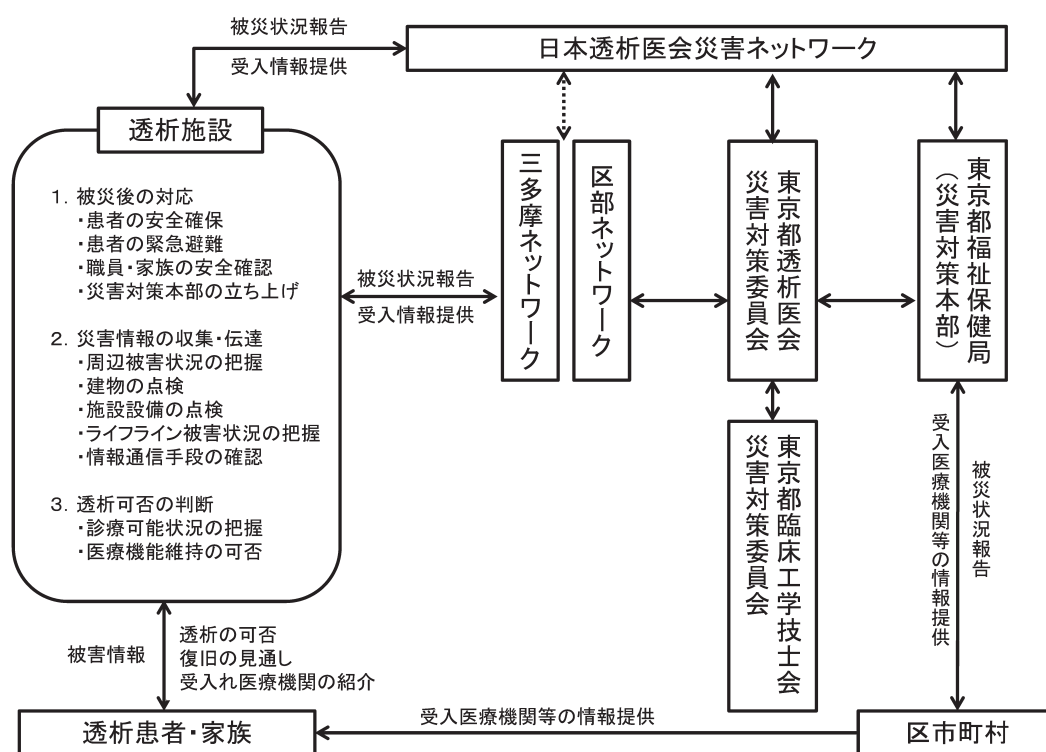
災害対策委員長 戸倉振一

日時：平成30年12月29日（日）

東京都にはこれまで、災害時に透析医療を確保するためのネットワークが、三多摩、23区にありました。このネットワークを更に強化するために、23区と多摩地区を結びつける形で、平成30年1月に日本透析医会の東京支部として東京都透析医会が設立されました。また、平成30年5月には東京都透析医会に災害対策委員会が設置され、東京都臨床工学士会災害対策委員会と協力し、東京都福祉保健局をはじめ関連団体と連携をとっていくための交渉元となり災害対策に対する取り組みを進展させています。

この新たな動きにより、透析医療の災害時の診療可能状況等の把握体制と患者への情報伝達経路は下記の図のようになりました。われわれ患者は、これまで同様、基本的には自分が通院する透析施設から指示を受けることになりますが、自分が通院する透析施設と連絡が取れない場合に備え、区市町

災害時の診療可能状況等の把握体制



村が設営する医療救護所から確実に情報が得られるような体制も徐々に構築されています。さらに、ネットワークが入手した施設の透析の可否の情報をホームページ上で公開することも検討されています。

こうした動きを患者さんに伝え、患者さん自身としてはどうしていけばよいのか自助の助けになるような取り組みをとして、区部のネットワークが23区の区民を対象とした公開講座を3月10日（日）に



中央が酒井先生、左へ菊地先生、城先生

行う予定です。

それに先立ち、区部ネットワークと東腎協との連携の一環としての座談会が12月9日(日)に中外製薬(株)の協賛により行われました。区部ネットワークからは、南部ブロックで長年、災害対策に関する様々な活動を行っておられ、平成30年4月に区部ネットワークの代表世話人になられた東邦大学医学部付属大森病院腎センター教授の酒井謙先生と同じくして代表世話人になられ西ブロックでの災害対策を充実させておられる下落合クリニック院長の菊地勘先生が参加されました。また、災害時の患者の自助としては、食事の管理が非常に重要であるため、下落合クリニックの管理栄養士の城愛子先生も同席されました。東腎協からは災害対策委員長の戸倉と元理事の宿野部が参加しました。当日の内容は記録集として冊子にし、公開講座の資料として配布される予定です。東腎協としてはこの座談会で得られ情報をもとに今後、災害対策マニュアルを充実させていく予定です。

目指そう

締め切りは1月31日です

国会への請願日は3月14日(木)

国会請願100万人の署名

腎臓病患者をめぐる

医療と生活の環境は

国の財政難や患者の高齢化のため、
年々厳しくなっています。

「腎疾患総合対策」は

私たちの命の砦です！

私たち患者自らが声をあげ、

保健・医療・福祉の一体的な対策

「腎疾患総合対策」の確立を
国に訴えましょう



100万筆をめざし署名にご協力をお願い致します！

ご家族や周りの方にも呼びかけてください。

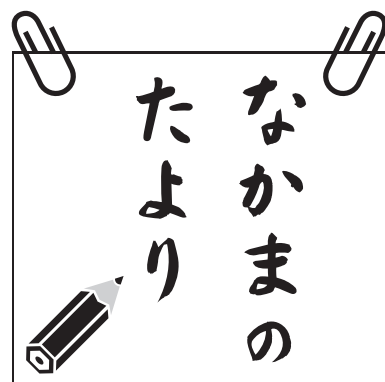
募金にもご協力をよろしくお願い致します。



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会 (NPO 東腎協)
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F ☎03-3944-4048



一般社団法人 全国腎臓病協議会 (全腎協)
〒170-0002 東京都豊島区東横1-20-9 東横ファーストビル3F ☎03-5395-2631



新江東橋クリニック秋のバス旅行

清湘会記念病院腎友会

野口忠男

皆様、お疲れ様でした。総勢30名のバス旅行になったということです。

平成30年9月30日、この日は朝から雨ふりで、予報では夜半に台風が通過するというので、案の定夜中には暴風が吹き荒れ、翌朝は交通機関も混乱を来しました。

バス旅行は、朝7時に例年通り墨田区の錦糸公園横に集合し、参加者全員7時15分頃に到着したバスに順次乗り込みました。バスの中では、鬼頭会長はじめ、役員の方々による点呼があり、朝食のサンドウィッチや飲み物、菓子等が



配られました。

鬼頭会長のご挨拶があり、7時30分出発しました。バスは、記念病院横から蔵前橋通りに出て平井大橋で首都高速に乗り、外環道、関越道と乗り継ぎ、高坂SAでトイレ休憩。雨はポツリポツリ程度になっていました。15分位の休憩で再び高速に入り、高岡ICで降り、最初の予定地のこんにやくパークに着きました。

こんにやくパークでは、こんにやく料理が無料バイキングで食べ放題ということで、田楽や煮物、ラーメンといった、7、8種類の



料理が並んでいましたが、昼食前なので腹半分という事に。食後、こんにやく製品の買物や産地の野菜などを買って、バスに戻りました。1時間弱の滞在でした。

10時45分頃出発し、次の予定地である世界遺産の富岡製糸場へ、15分程で到着しました。雨は、止んでいました。

バスの駐車場から製糸場までは、お店が並んだ通りの中を少々歩きましたが、富岡製糸場の入口で受付を済ますと、各自にパンフレットと音声ガイドが流れるイヤホンが渡されました。そして男性の



ガイドさんによって、製糸場の歴史や外観、工場内部の解説などを聴講、学びました。最後に、繭から糸を取る実演があり、新江東橋の看護師さんが教えられながら実習しました。

12時に出発し磯部温泉へ。道中、鬼頭会長さんが、今日の空模様から次の予定地の高崎堀口農園での梨狩りを中止にしたいと農園に電話を掛けておられました。

30分位して、舌切り雀のお宿「磯部ガーデン」に到着。ロビーに入ると、農園の方が来ていらして、試食用の梨と持ち帰り用の大きな

豊水梨を各自に2個、袋に入れて渡して下さいました。農園の方の説明を受けたのち、3階の大広間へ案内されました。大広間には食事の用意ができていました。

鬼頭会長のご挨拶と注意事項等があり、金井さんの乾杯で食事となりました。料理の品数も多く、歓談しながら美味しく頂きました。食後は、そのまま歓談を続ける人、お風呂に行く人、お土産を買う人など、ゆったりと時間を過ごしました。

14時30分、宿を出発。前橋ICから高速に入り、途中「道の駅玉

村宿」でお土産を買いました。16時に出発し、車中でビンゴゲームをして和やかさを増し楽しみました。

17時30分に出発地の錦糸町に着いた時には、時折強い激しい雨が降るような状況で、帰りはお土産と傘とで難渋しました。

いろいろ手厚いお持て成しと、お気使い、ありがとうございます。お邪魔いたしました。よい思い出話もできました。

最後に、鬼頭会長はじめ、役員の方々、他の方々の、この旅行実施までの労をねぎらい申し上げますとともに感謝いたします。ありがとうございました。

付加として、旅の所々で、また宿でも、「勝和なごみ会」様の方々とご一緒になったことを記しておきます。

● 東部ブロック料理教室

東部ブロック長 中村 博

11月11日、日曜日、江戸川区グリーンパレスで清湘会の栄養士の先生方に来て頂き東部ブロックでは初めての料理教室を開催いたしました。

参加人数は理事も合わせて23名

と栄養士の先生が4名でした。

栄養士の先生方が料理のしたごしらえしている時に会員の皆様は食器や料理道具の用意をし、準備が出来たら、会員様を5班にグループ分けをしてから、栄養士の先生方の料理の作り方を見てから、各班で実戦に料理を作って行きました。参加した会員の皆様は楽しく協力しながら料理を作っていました、作った料理は盛り付けをして作った料理を美味しく食べていました。

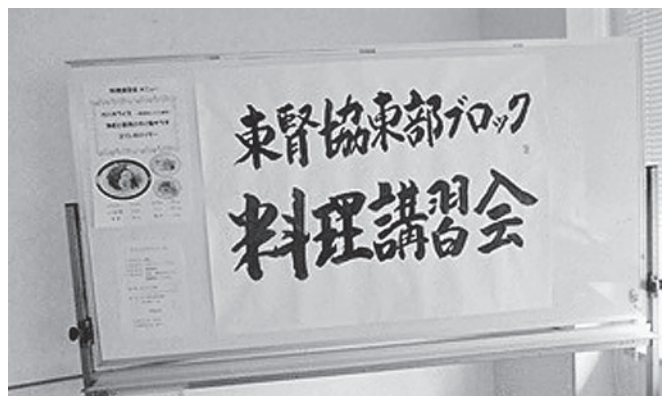
食事中に、体力作りと食事、フレイルとサルコペニアについての講演がありました。

● 料理講習会に参加して

東部ブロック勝和なごみ会

保倉清太郎

我が会では、年間4行事の一つとして秋に、料理教室を実施しています。平成16年、17年、21年は料理実習（梅島駅近くエル・ソフィアにて）を実施しました。平成18年、26年、27年は講演会（食べで覚えよう！ほっか弁の食べ方の指南・リンとカリウム等）をいずれも当病院管理栄養士の先生方に指導して頂いております。ここ二



年程、料理教室が実施されずにいました。料理講習会の開催を東部ブロックの方々にお願いたしましたところ、快く受けて頂きました。

この度は清湘会記念病院の中尾先生・スタッフの方々、また計画された役員の方々にお礼申し上げます。

料理実習は楽しく・ガヤガヤと出来上がったエスニック料理（ガバオライス、海老のタイ風サラダ）を美味しくいただきました。同時に高齢によるフレイル・シンコペニアの予防対策について講演をいただき、「運動と食事」が重要で



あることが分かりました。また塩分8gを1日摂取すると体重1kg上昇。塩分を使わずに、酢・胡椒などの香辛料をうまく使うこと、無機リンは90%以上の吸収率が高いのでタンパク質由来の肉・魚・卵・乳類に切り替えるようご教授頂きました。

「健康寿命」を延ばすことが重要であるという事を力説されました。小生がIPS細胞の山中先生の講演（明治大学にて）で若い人に負担をかけない（健康保険料・介護・年金等の更なる負担）ことは、高齢者自身の健康寿命を延ば

すこと、それが研究の使命・目標の一つだと言われました。中尾先生のご教授と同じことと思いましたが。料理講習会に参加して楽しく、そして勉強になりました。今からウォーキングを10分多く歩きます、スクワットを取り入れます。今回勉強した「フレイルサイクル」に陥らなようにします。

兎に角楽しく過ごして、食事を美味しく頂きました。ブロック内の人と会話を交わすことができた。隔年でも料理講習会をご計画・企画くださいますようお願い致します。有難うございました。

多摩ブロック個人会員 交流会 in 立川

個人会員 関口新一

11月11日（日）（株）東京在宅サービスの会議室に於いて、多摩ブロックの個人会員交流会を開催致しました。当日は梅原会長はじめ理事の方4名と青年部1名、腎カフェメンバー5名を含む個人会員6名が集まりました。他に4日の「都民の集いフォローアップ交流会」で東腎協に新加入頂いた方など2名も申し込みを戴いていましたが、風邪などで御参加頂けなかったこ

とは残念でした。またの機会には是非お待ちしております。

最初の企画は、会議室を提供して頂いた（株）東京在宅センターの講師の方を招き「家庭で簡単に出来る温電法（ホットパック）の実演です。温電法は漢方医学の治療法の一つで、この日は予め水で濡らしたフェイスタオルをレジ袋に入れ、電子レンジ（600W）で1分程温めたものを患部に当てる湿性温電法が紹介されました。血管が拡張されるため血液やリンパ液の循環がよくなり、痛みを和らげ、排便を促す効果があるのだそうです。皆、思い思いの患部に当てて気持ちよさそうです。話が面白く予定を軽くオーバーしました。

10分の休憩を挟み次の企画は懇親会です。今回は一人500円の会費制にしたのでお菓子や飲み物が沢山。中でも個人会員の加藤さんが参加人数以上焼いてくれたマドレーヌは、ボリューム満点、売り物に負けない美味しさで、豪華な懇親会にしてくれました。

東腎協の定款と理念のコピーを用意してくれた梅原会長の熱い思いから始まった自己紹介は、皆さんの人となり色濃く出たものに



多摩ブロック個人会員交流会

なり、親近感、一体感を強めました。その後の東腎協への意見、要望をテーマのフリートークでは、東京は透析導入時東腎協へ全加入制にすべき。雑誌購入だけの会員などもっと間口を広げたら。旅行などブロックを超えた行事をもっと企画して欲しい。若い会員を増やすにはネットを活用した入会や会費納入、会議や投票の実施環境などを整える必要がある。個人会員も意見を出せる様、正会員資格を改めるべきなどざっくばらんな意見が出て予定の時間を1時間もオーバーして散会致しました。

個人会員は横の連携、東腎協との結びつきを求めています。今後とも繋がる催しを企画して行こうと思います。

会場の(株)東京在宅サービスの会議室は、立川駅から10分圏内、定員20名程のコンパクトなものです。が、綺麗で清潔感ある施設です。比較的予約しやすい様なので、多摩ブロックのちょっとした会議などには活用出来ると思います。施設腎友会などでも使いたい方は東腎協事務局へ連絡してください。

中南部・東部ブロック

合同交流会開かれる

事務局 白坂徹夫

年の瀬を控えた初冬の昼下がり、浅草寺境内に程近い割烹「和えん亭吉幸」に中南部・東部ブロックの会員さんたちが集まってきました。この日は「津軽三味線とランチの集い」。

貸し切りの会場は、定刻には参加を申し込んでいた人たちで満席。「昼食を共にしながら津軽三味線を聞こう」という、この企画に寄せていた期待の程がうかがえます。

二つのブロックによる交流会は和やかな懇親と、お待ちかね津軽



津軽三味線を聴きながら



会場の「和えん亭吉幸」



参加者の皆さん



歓談する皆さん

三味線の生演奏で盛り上がりました。締めは恒例の記念写真撮影で無事終了しました。

今回の参加者には車椅子の方やご家族同伴の方も多く見受けられ、この患者会組織としての東腎協らしさは次回以降の企画にも活かして行きたいと思いました。

心施会合同バス旅行会

八王子桑の実会 村越京子

平成30年10月21日、心施会クリニックの合同バス旅行が行われた。今回のバス旅行は、心施会に属する3つの透析クリニック、けやき会（府中）、桑の実会（八王子東町）、平山城址腎友会の合同バス旅行で、心施会としては、初めての試みであったそうです。

参加者はバス1台貸切りで、総勢35名の旅行になりました。

旅行日当日は、日ごろの不安定な気候と打って変わったような快晴で、すがすがしい気持ちでバスに乗り込むことができました。

中央自動車道の談合坂サービスエリアから、初めの景勝地の河口湖に至る道筋の車窓からは、霊峰富士が次第に大きく見え始め、河口湖に近づくにしたがって、時に



は横に、時には正面に見え隠れして目を楽しませてくれました。

河口湖では、快晴であるが少し風があるため、水面に映る富士の姿は眺めることができず残念でした。遊覧船は思ってたよりも小さく、その割には、大勢の人が乗船するので少し心配しました。わずか20分ほどの船旅ではありましたが、河口湖の周りの風景をゆっくりと楽しむことができました。

昼食はホテル慶山のバイキング形式で、各自が好みのものを自己負担で、好みの量を頂きました。ハーブ園では多くのハーブが紹

介されました。私にはなかなか覚えられません。

ここでは、ハーブを使った商品が販売されており、美容と健康に気にする私たちはよき顧客でありました。

ブドウ狩りではブドウが高い位置に実っているので採りにくく、それよりもサンプルとしてお皿においてあるブドウを食べるほうが、いろいろな種類のブドウを楽しめたので、多くの人はこちらの方でブドウを食していたように思います。食べるほうはともかく、ブドウ棚に鈴なりになったブドウは壮観でした。

車中に戻ると、予備に持参してきたショッピングバッグは、いつの間にか一杯になりました。

帰路にはビンゴゲームとカラオケで盛り上がり、前方に見える多くの渋滞車両の赤いテールランプもロマンチックに見えました。

平成31年 第1回

東京歩こう会

1月20日

今回（通算4回目）は最初に亀戸天神社へ初詣を兼ねお参りし東京スカイツリーを経由し言問橋、隅田公園から浅草雷門へ。昼食後

吾妻橋を渡り関東大震災、東京大空襲で亡くなられた方を慰霊する東京慰霊堂を通り大相撲初場所まで賑わう国技館前、相撲博物館までの下町情緒たっぷりのコースです。私たち透析患者は運動不足になりがちで、その結果筋肉量、筋力が低下し生命予後にも大きく影響が有る様です。ウォーキングで少しでも運動不足を解消して頂きたいと思います。初参加の方も大歓迎です。奮ってご参加下さい。



投稿のお願い 編集委員会では

会員の皆様からの投稿を随時受け付けています。「なかまのたより」に投稿の方、旅行、趣味、食事会、サークル活動等内容を問いませんので何でもお寄せ下さい。

☎ 03-3944-4048

E-mail kikanshi@toujin.jp

(2019・平成31年度)

30年透析会員のお名前

おめでとうございます。これからもがんばって!

会員名	導入年月日	患者会名
✿ 谷口 勝治	昭和59年11月	東海病院ひまわり会
✿ 腰塚三津子	昭和63年2月	長久保ハナミズキ会
✿ 小林 英樹	昭和63年3月25日	松和患者会
✿ 高橋 良郎	昭和63年4月24日	吉祥寺あさひ腎友会
✿ 熊谷 郁子	昭和63年4月27日	村上医院ひまわり会
✿ 秋庭 満	昭和63年4月28日	清湘会聖橋クリニック腎友会
✿ 矢浪 流	昭和63年6月2日	小笠原クリニック友の会
✿ 大河原 晃	昭和63年6月24日	吉祥寺あさひ腎友会
✿ 岩城 雅子	昭和63年7月22日	高松病院腎友会
✿ 富沢 裕子	昭和63年8月23日	清湘会聖橋クリニック腎友会
✿ 羽生 賢二	昭和63年9月22日	国分寺こやま腎友会
✿ 見方 道浩	昭和63年11月	東海病院ひまわり会
✿ 北村 義昭	昭和63年11月16日	すながわ相互診療所患者会いずみ
✿ 小峯 由美子	昭和63年12月20日	あけぼのクリニックいちょう会



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F
TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556



明けましておめでとうございます

二〇一九年一月

今年もがんばります

NPO法人東京腎臓病協議会

会長 梅原 秀孝

副会長 戸倉 振一

副会長 古暮 宏

中南部ブロック長 須賀 春美

多摩ブロック長 杉崎憲三郎

東部ブロック長 中村 博

北部ブロック長 榊原 靖夫

事務局長 板橋 俊司

事務局次長 白坂 徹夫

監事 山口 登

監事 糸賀 久夫

理事

金井 信憲・斉藤 和巳

酒井 豊・鈴木 明彦

長井久美子・永見 明子

中野 雄蔵・松本 茂利

三好かおり・村越 京子

山田 裕美

社会福祉法人 樹会

特別養護老人ホーム 大井苑

理事長 富家 隆樹

〒356-0054

埼玉県ふじみ野市大井武蔵野1277-1

TEL 049-(262) 8686
FAX 049-(256) 5300

医療法人財団

織本病院

理事長 高木 由利

〒204-0002

東京都清瀬市旭が丘1-261
TEL 042-(491) 2121

社会福祉法人 樹会

特別養護老人ホーム 四街道苑

理事長 富家 隆樹

〒284-0008

千葉県四街道市鹿放ヶ丘593-3
TEL 043-(304) 8161
FAX 043-(304) 8163

医療法人社団 大坪会

三軒茶屋病院

院長 大坪 由里子

〒154-0024

東京都世田谷区三軒茶屋1-21-5
TEL 03-(3410) 7321

社会医療法人社団 健生会

羽村相互診療所

所長 小林 重雄

〒205-0023

東京都羽村市神明台1-30-5
TEL 042-554-5420
FAX 042-555-3151

社会医療法人社団 健生会

すながわ相互診療所

所長 小泉 博史

〒190-0002

東京都立川市幸町5丁目9番2号
TEL 042-(538) 1502

医療法人社団

菊川橋クリニック

院長 古川 猛

〒130-0024

東京都墨田区菊川2-11-1
TEL 03-(5600) 2222
FAX 03-(5600) 0805

医療法人社団 君真光

寺田病院

理事長 寺田 光男

〒168-0081

東京都杉並区宮前5丁目18番16号
TEL 03-(3333) 1166
FAX 03-(3333) 6765

医療法人財団 健康文化会

小豆沢病院

院長 篠田 格

〒174-8502

東京都板橋区小豆沢一丁目六番八号
TEL 03-3396-8411
FAX 03-3396-0151

医療法人社団 光靖会

井口腎泌尿器科

理事長 井口 靖浩

〒125-0061

東京都葛飾区亀有3-7-7サンセリテ駒子3階3号室
TEL 03-(3838) 8721
FAX 03-(3838) 8723

医療法人社団 光靖会

北村記念クリニック

理事長 井口 靖浩

〒124-0024

東京都葛飾区新小岩1-49-10
第5デリカビル5・6・7階
TEL 03-(6231) 5932
FAX 03-(6231) 5932

医療法人社団 三友会

あけぼの病院

理事長 南郷 俊明

〒194-0021

東京都町田市中町1丁目23番3号
TEL 042-(728) 1111
FAX 042-(728) 8461

医療法人社団 松和会

大泉学園クリニック

院長 草場 岳

〒178-0063

東京都練馬区東大泉
TEL 03-(5947) 5681
FAX 03-(5947) 5681



明けましておめでとうございます

二〇一九年一月

医療法人社団 秀佑会	東海病院 院長 江本 秀斗 〒176-0023 東京都練馬区中村北2丁目10番11号 ☎03(39999)1131 FAX03(39999)7027	腎クリニックス高野台 院長 永田 雅子 〒177-0033 東京都練馬区高野台 1丁目3番7号NFプラザII3階 ☎03(5910)3121 FAX03(5910)3123	新線池袋クリニックス 院長 目良純一郎 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-10-10 東武アネックスビル4階 ☎03(5911)1250	十条腎クリニックス 院長 秋元 寛正 〒114-0034 東京都北区上十条2丁目13番1号 ガーデニア4階 ☎03(3908)2411
医療法人社団 松和会	望星西新宿診療所 院長 中尾 俊之 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3丁目12番12号 ☎03(5304)5655	望星赤羽クリニックス 院長 喜田 浩 〒115-0045 東京都北区赤羽 2丁目11番3号 ☎03(3902)0255	練馬高野台クリニックス 院長 鈴木 重伸 〒177-0033 東京都練馬区高野台 1-8-15 ☎03(5372)6151	望星新宿南口クリニックス 院長 高橋 俊雅 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目9番2号久保ビル3階 ☎03(3376)0191
医療法人社団 松和会	望星田無クリニックス 院長 福井 光峰 〒188-0011 東京都西東京市田無町2丁目21番地12号 ☎042(464)5711 FAX042(461)4838	新小岩クリニックス 院長 西尾 恭介 〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-20-22 ☎03(3694)5621 FAX03(3694)5628	新小岩クリニックス船堀 院長 加納 達也 〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-4-24 ☎03(3688)9901 FAX03(3688)9973	自靖会親水クリニックス 院長 北村 唯一 〒132-0033 東京都江戸川区東小松川2-7-1 ☎03(5661)3872 FAX03(3674)7036
医療法人社団 心施会 理事長 杉崎 健太郎	府中腎クリニックス 院長 小杉 繁 〒183-0055 東京都府中市府中町1-8-1 第7三ツ木ビル6F・7F ☎042(366)8909	南大沢パオレ腎クリニックス 院長 岩本 八千代 〒192-0364 東京都八王子市南大沢2-2パオレ5F ☎042(677)4477	八王子東町クリニックス 院長 小俣 百世 〒192-0082 東京都八王子市東町 7-6 ダヴィンチ八王子7F・8F ☎042(646)6996	平山城址腎クリニックス 院長 杉崎 健太郎 〒191-0043 東京都日野市平山 5-38-1 平山城址公園駅前ビル ☎042(599)2311



明けましておめでとうございます

二〇一九年一月

医療法人社団 腎と水 新中野透析クリニック 院長 津田 信次 スタッフ一同 〒164-0001 東京都中野区本町3丁目23番3号新中野AMビル1階 TEL 03(3370)8111 FAX 03(3370)8129	医療法人社団 清光会 理事長 横山 志郎 〒249-0001 神奈川県逗子市久木4丁目25番8号 TEL 046(873)7141 FAX 046(873)9991	医療法人社団 長尽会 長久保病院 三和クリニック 理事長 桑原 勝孝 〒186-0001 東京都国立市谷保6907番地の1 TEL 042(571)2211 FAX 042(571)2288	南青山内科クリニック 院長 鈴木 孝子 〒107-0062 東京都港区南青山7-8-11 TEL 03(6805)1836
医療法人社団 順洋会 武蔵野総合クリニック練馬 院長 下村 洋 〒176-0001 東京都練馬区練馬1丁目26番1号 TEL 03(3993)7015	特定医療法人 清湘会 清湘会 記念病院 理事長 佐々木 成 〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目17番24号 TEL 03(3633)2301 FAX 03(3633)2309	医療法人社団 春口クリニック 練馬桜台クリニック 理事長 永野 正史 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目11番9号 TEL 03(5999)0723 FAX 03(5999)0823	社会福祉法人 むつみ会 春陽苑にここクリニック 理事長 青山 一雄 〒331-0068 埼玉県さいたま市西区飯田新田91-1 TEL・FAX 048(621)1125
医療法人社団 駿昭会 小池内科 院長 小池 昭夫 〒102-0071 東京都千代田区富士見町2丁目13番16号上田ビル TEL 03(3265)0203	医療法人社団 晴仁会 立川北口駅前クリニック 理事長 檜垣 昌夫 院長 石原 理裕 〒190-0012 東京都立川市曙町1丁目31番2号遠藤創造ビル3階 TEL 042(523)2299 FAX 042(523)2400	医療法人社団 北桜会 飯田橋春口クリニック 院長 春口 洋昭 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3丁目9-3 SKプラザ2F TEL 03(5215)1515 FAX 03(5215)1519	医療法人社団 やよい会 あやせ駅前腎クリニック 院長 榎本 美穂 〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-16-4 とうしんビル5・6階 TEL 03(5697)8281 FAX 03(5697)8282
医療法人社団 菅沼会 腎内科クリニック世田谷 理事長・院長 菅沼 信也 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4丁目21番14号 TEL 03(5969)4976 FAX 03(5969)4970	医療法人社団 晴仁会 幸町腎クリニック 院長 渡辺賀寿雄 〒190-0004 東京都立川市柏町4丁目1番1号 TEL 042(536)3099 FAX 042(536)3269	医療法人社団 北桜会 東武練馬クリニック 〒175-0083 東京都板橋区徳丸3-11-2 TEL 03(5922)3530 FAX 03(5922)6880	医療法人社団 やよい会 立石腎クリニック 院長 遠藤 聡 〒124-0012 東京都葛飾区立石8-11-2 賛生ビル2階・3階 TEL 03(5672)2151 FAX 03(5672)2155



明けましておめでとぅございいます

二〇一九年一月

医療法人社団 成和会 西新井病院 血液浄化透析室 理事長 金 光宇 〒123-0845 東京都足立区西新井本町1-12-12 ☎03-56647-1700 FAX03-56647-1700	東京 曳舟病院 院長 山本 保博 〒131-0032 東京都墨田区東向島2丁目27-1 ☎03-5655-1120 FAX03-5655-1121 医療法人社団 愛恵会 両国駅前内科・透析クリニック 理事長 加藤 貴志 院長 木村 庄吾 〒130-0026 東京都墨田区両国2-21-8 ☎050-5865-5610 FAX03-5600-3376	株式会社 教宣文化社 代表取締役 中村 伸一 〒359-0012 埼玉県所沢市坂之下794 ☎04-2944-4323 FAX04-2944-0118
ad square グリーンループ合同会社 〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目12番地13号 ☎03-6277-6580 FAX03-3505-8508	株式会社 東京在宅サービス 代表取締役 中野宏次郎 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1丁目5番4号YKBマイカガーデン201 ☎03-3354-0341 FAX03-3354-0373	ジープラン株式会社 代表取締役 長谷川貴一 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-3-3 ☎03-3864-1233 FAX03-3864-1244
ベータ食品株式会社 代表取締役社長 原 年秀 〒531-0076 大阪府北区大淀中 1-16-10 高シビル5階 ☎0800-111-3211 FAX0120-989-831	特定非営利活動法人(NPO) 通院移送センター タンポポ 理事長 小野崎 勝 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 4丁目12番13号ノイメゾン桜台1階 ☎03-6751-7372 FAX03-6751-7374 (携帯)0800-3204-0226	扶桑薬品工業株式会社 東京第一支店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目4番5号 ☎03-5203-7101 FAX03-5203-7088
新小岩クリニック患者友の会 新小岩医院・船堀医院 会長 住安 重 顧問 田崎 勲 副会長 當 喜美子 副会長 藤本 光子 会計 橋本 迪子 会計 原田真由美	役員 福田登喜子 会計監査 栗原エイ子 役員 村松 斉 会計監査 岡本 茂 役員 田澤 桂子 役員 永田 治 役員 佐藤 和子 役員 大畑 ハナ 役員 吉田 継受 役員 松田美代子 役員 井上 幸男 役員 水野 雅夫	エルピス株式会社 常務取締役 堀江 好美 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目6-29 ☎06-6110-5010 FAX06-6110-5020
株式会社 ワイズ・ヒューマン・パートナーズ 代表取締役社長 村田 寛夫 〒102-0082 東京都千代田区一番町13番地16 ☎03-5521-5531 FAX03-5210-5532	株式会社 ワイズ・ヒューマン・パートナーズ 代表取締役社長 村田 寛夫 〒102-0082 東京都千代田区一番町13番地16 ☎03-5521-5531 FAX03-5210-5532	株式会社 ワイズ・ヒューマン・パートナーズ 代表取締役社長 村田 寛夫 〒102-0082 東京都千代田区一番町13番地16 ☎03-5521-5531 FAX03-5210-5532



明けましておめでとうございます

二〇一九年一月

あかつき印刷株式会社 代表取締役社長 大久保 豊 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25の2 APビル ☎03(34497)0531 FAX03(34497)0043	東京障害年金相談センター 所長 杉野 賢一 〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター13階5号 ☎03-3888-6614	読者の皆様 新年あけましておめでとうございます 本年もよろしく願い申し上げます 吉祥寺あさひ腎友会 会員一同 吉祥寺あさひ病院・吉祥寺クリニック内	謹賀新年 勝和なごみ会 会長 土田 孝 会員一同
清湘会記念病院腎友会 会長 中島 博和 他会員一同 〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目17番24号 ☎03(3636)2301	松和患者会 会長 遠藤 一男 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-9-2久保ビル3階 ☎090-8052-4207 (遠藤携帯)	謹賀新年 新江東橋クリニック腎友会 会長 鬼頭 斗 副会長 山口博之 副会長 廣田昭弘 会計 上松一郎 書記 船田尚子 相談役 金井信憲 会員一同 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-7-13 ☎03(5637)6920	社会医療法人社団 健友会 中野共立病院腎友会・絆の会 〒164-0001 東京都中野区中野5丁目44番7号 ☎03(3386)3166 透析室03(3386)9107
医療法人社団 成和会 西新井病院腎友会 会長 金 光宇 〒123-0845 足立区西新井本町1-12-12 ☎03(5647)1700 FAX03(5647)1701	日野・高幡・百草園腎友会 会長 板橋 俊司 副会長 春日 清 副会長 栗木美智子 会計 樋渡 恭子 世話人 長田由紀子 世話人 富張 理子 (高幡) 世話人 田中 克幸 〒191-0011 住所 日野市本町3丁目11番地1 ☎042(584)6621	医療法人社団 心施会 八王子東町クリニック桑の実会一同 JR八王子駅前通り ダビンチビル7F ☎042(646)6996	医療法人社団 心施会 平山城址腎クリニック患者一同 京王線平山城址公園駅前 東京都日野市平山5-38-1 ☎042(599)2311
府中けやき会一同 医療法人社団 心施会 〒183-0055 東京都府中市府中町1丁目8番1号 第7三ツ木ビル6F・7F ☎042(366)8909 FAX042(334)2601	東海病院 ひまわり会 会長 山崎 弘 練馬腎ネット議長・副会長 坂本 悦男 会計監査 平井勢津子 幹事 吉田 義昭 幹事 佐々木忠雄 幹事 野崎登喜治 幹事 小室 富雄 幹事 桧貝 弥生 幹事 倉石 恵子	東京障害年金相談センター 所長 杉野 賢一 〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター13階5号 ☎03-3888-6614	東京障害年金相談センター 所長 杉野 賢一 〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター13階5号 ☎03-3888-6614



明けましておめでとぅございます

二〇一九年一月

柳原腎クリニック 健腎会 会長 永井 昌平 〒120-0023 東京都足立区千住曙町4番16号 FAX 03 (3888) 2707 TEL 03 (3888) 7729	練馬桜台クリニックさくら会 会員一同 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目11番1号 TEL・FAX 03 (3994) 8860	江戸川区腎友さつき会 会長 戸倉 振一 〒134-0085 東京都江戸川区南葛西1丁目5番1号 FAX 03 (5658) 0757	森山友の会 会長 岸里 悟 他会員一同 〒134-0088 東京都江戸川区西葛西7丁目12番7号 社会医療法人社団森山医会 東京脳神経センター病院透析センター内 FAX 03 (3675) 1211
織本病院腎友会 会長 山下 賢 副会長 中野 雄蔵 副会長 宮本 弘之 幹事 米田 廣 監査 細田貴代美 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-261 FAX 042 (491) 6654 TEL 042 (491) 2121	腎内科クリニック世田谷患者会 会長 丸山 通雄 〒157-0062 東京都世田谷区南島山4-21-14 FAX 03 (5969) 4976 TEL 03 (5969) 4970	謹賀新年 菊川橋クリニック腎友会 会員一同 〒130-0024 東京都墨田区菊川2-11-1 FAX 03 (5600) 2222 TEL 03 (5600) 2222	高松病院腎友会 会長 三好 かおり 〒179-0075 練馬区高松六-四-二十三 医療法人 社団蒼生会 高松病院内

東京都23区 区民公開講座

～震災に備えて～

2019年3月10日(日)
10:30～12:00(開場:10:00)

【あいさつ】

安藤亮一先生 (東京都透析医会会長)
酒井 謙先生 (東京都部災害時透析医療ネットワーク代表世話人)
岡本裕美先生 (東京都臨床工学技士会災害対策委員会委員長)

講演1

司会 花房規男先生
(東京都透析医会災害対策委員会委員長)
演者 菊地 勘先生
(東京都部災害時透析医療ネットワーク代表世話人)
「新たにスタートした東京都部災害時透析医療ネットワークの取り組み～三多摩地区、医会、技士会との連携について～」

講演2

司会 酒井 謙先生
(東京都部災害時透析医療ネットワーク代表世話人)
演者 嶋田英敬先生
(医療法人如水会嶋田病院理事長)
「熊本地震の報告～その時透析施設は!?」

共催：東京都部災害時透析医療ネットワーク／
東京都透析医会／中外製薬株式会社

【会場へのアクセス】

【会場】TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原 ホール2A

【住所】〒101-0021 東京都千代田区外神田1-7-5

JR線・秋葉原駅電気街口より徒歩4分
つくばエクスプレス線・秋葉原駅より徒歩6分
東京メトロ日比谷線・秋葉原駅3番出口より徒歩7分
東京メトロ銀座線・末広町駅3番出口より徒歩6分
東京メトロ千代田線・新御茶ノ水駅B2出口より徒歩7分



事務局から

「ご寄付御礼」

○扶桑薬品工業（株）

東京第一支店様

「青い鳥・ハガキご寄付御礼」

【患者会】

長久保ハナミズキ会

編集後記

○正月明けから、インフルエンザA型で隔離ベッド、出勤停止。ワ

クチンは打っていたので大病には至らなかったが、周囲に移したり仕事で迷惑をおかけしました。
○特集で、東腎協の現在と今後の方向性に少しは明るい兆しが見えてきたかと思う。2021年5月には全腎協結成50周年記念式典が東京で開催される。1000人規模の式典になるようだ。東腎協も全会員さん全役員さんの総力を結集して、何としても成功させなければならぬ。
○2019年度は、東腎協の役員

今後の活動予定

1月27日（日）
第142回理事会・三役会
1月26日～27日（日）
全腎協理事会
2月3日（日）
多摩ブロック新年会
北部ブロック新年会
2月10日（日）
第30回腎臓病を考える都民の集い
2月24日（日）
第143回理事会・三役会

3月3日（日）
全腎協理事会
3月10日（日）
区部災害対策シンポジウム
3月14日（木）
第48回国会請願
3月23日～24日（日）
全腎協臨時総会
3月24日（日）
第144回理事会・三役会

改選期です。理事の皆さんも体調が悪かったり、高齢になられたりと大変です。個人会員さんも含めて「我こそは」と思われる方はぜひ立候補してください。（板橋）

〈事務局雑感〉

■りそな銀行などの親会社りそなホールディングスは核兵器を開発、製造する企業に融資しない方針を決め、文書で公表した。■かつて企業経営をしていた私は、バブルの絶頂期に銀行との交渉で不愉快な経験をした。以来銀行には少なからず悪感情を持っていたから、今回のこの措置には少しだけ見直した。■「儲けのためならなんでもあり」の風潮が蔓延している。銀行に限らず財界人の矜持を見せて欲しいものだ。（白坂）

■明けましておめでとうございませす。寒い日が続きますが風邪等、ひかれていませんか？

30年程前、札幌に住んでいましたが、日中2度あると意外と暖かいですよ。東京の方が寒いですが、風が冷たいです。マンションの真ん中の部屋に住んでいた為、周りからの熱でとても暖かいです。札幌では、真冬の雪が固まらない（雪ダルマができない）事を知りまし

た。ですから、傘が要らないです。東京に降る雪は、大変ですね。
■インフルエンザが流行しだしていますので、お気をつけください。今年もお世話になります。（三好）

表紙のことば



元日は30年近く友人と江ノ島神社に初詣をした後で初日の出を拝んでいます。今年も一年家内安全、みんなが平和に暮らせるよう祈ってきました。

以前は星や初日の出を「綺麗だね」と言っていました、最近「階段登るのがしんどい」「寒い。饅頭屋で休憩しよう」としか言わなくなりました。

写真は片瀬東浜から撮ったものです。太陽は海からでなく三浦半島からのぼります。浜を埋め尽くす人たち。若者は服のまま海に入り、大騒ぎしていました。若いって素晴らしい。（村田）